

第18回

学生が
選んだ

「もっと学びたい」、「もっと学んでほしい」
—そんな学生と教員の思いを近づけるために

「ベストティーチャー」発表！

2023年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学部で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。

選ばれた先生方の声をお届けいたします。



Nathaniel CARNEY 先生

国際学部、文学部(英文学科)

学生が互いの経験、知識、意見を共有し「近所付き合いのあるコミュニティ」を作ることが重要だと考えています。

* 担当科目: English I、Graduation Thesis Seminarなど



傅 喆 先生

文学部(総合文化学科)

経済学の理論体系をcoolに学び、情熱を持って現場に寄り添うことを共に学びましょう。

* 担当科目: 経済学、現代社会と経済学、比較経済論など



なかにし あかね 先生

音楽学部(音楽学科)

間違ったら学べばいい。失敗したら別の方法を考えればいい。壁にぶつかったら乗り越える手がかりを探せばいい。

* 担当科目: 合唱特別実習、作品分析など



西嶋 雅樹 先生

心理学部、人間科学部(心理・行動科学科)

皆さんが感じていることを、直接発言せずとも、色々な形で教員に向けて、あるいは場に向けて発信しましょう。みんなで一緒に授業の場を作っていきましょう。

* 担当科目: 教育・学校心理学、地域活性化総合実習など



横田 弘文 先生

人間科学部(環境・バイオサイエンス学科)

「なんで人間はこんなことしてるのだろう？解決するにはどうしたらいいんだろう？」さあ、一緒に解決に向けた一歩を踏み出しましょう！

* 担当科目: 環境科学実習、生態毒性学など

私

の

授

業

風

景

学
生が
選

んだ

ベ

ス

ト

テ

ィ

ー

チ

ャ

ー

第

18

回

神

戸

女

学

院

大

学

2023年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学部で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。神戸女学院大学では、「もっと学びたい」、「もっと学んでほしい」、学生と教員のそんな思いを近づけることをめざしています。

学長室(FDセンター)

Nathaniel CARNEY先生



英語もさることながら学生の内的成長が図れる授業を心がけています。クラスでは英語でのディスカッションやプレゼンテーションを行います。主に学生自身のこと、現代社会がトピックスとなっています。学生が英語で表現する能力を身に付けていくプロセスに携われるのは大きな喜びです。学生が互いの経験、知識、意見を共有し「近所付き合いのあるコミュニティ」を作ることが重要だと考えています。

傅 喆先生



経済学的アプローチから、日本国内と海外の事例を比較し、環境政策の実効性、エネルギー転換と地域経済について研究しています。最近では宇沢弘文先生の「社会的共通資本」論の経済学を再読しています。イギリスの経済学者マーシャルは、経済学を学ぶ上で“Cool head but warm heart”が必要であると説きました。経済学では、環境問題を外部不経済による市場の失敗として説明し、その内部化により解決しようと理論的には考えます。しかしその実践は簡単にはいきません。経済学の理論体系をcoolに学び、情熱を持って現場に寄り添うことを共に学びましょう。

なかにし あかね先生



音楽はコミュニケーションです。人と関わることを恐れなくて、いろんな表現、多様なコミュニケーションを試してみてください。間違ったら学ばばいい。失敗したら別の方法を考えればいい。壁にぶつかったら乗り越える手がかかりを探せばいい。学生時代はそのための時間です。すべての授業はあなた自身を多角的、立体的に作り上げるためにあり、教員は成長しようとするあなたを応援するためにいます。

西嶋 雅樹先生



授業というと、教員から学生の皆さんに知識や考え方を伝達するという、一方向的な流れがイメージされがちです。しかし教員は絶えず、学生の皆さんがどんな様子でその場にいるかを感じ、読み取り、そして発信する事柄に織り込み続けているはず。つまり授業は、教員・学生の双方向的な対話の場です。皆さんが感じていることを、直接発言せずとも、色々な形で教員に向けて、あるいは場に向けて、発信しましょう。みんなで一緒に授業の場を作っていきましょう。

横田 弘文先生



私の授業を受けてわからなくなったら、それは私の授業をわかった証です。なぜなら、私が専門とする環境問題の解決には普遍的な正解などではなく、私が皆さんに教えているのは、「なんで人間はこんなことしてるのだろう？ 解決するにはどうしたらいいんだろう？」と思い巡らしてもらい、そのきっかけです。さあ、私の講義を聞いて、もやっとなら、一緒に解決に向けた一歩を踏み出しましょう！